

えんじのつぶやき

保育園や幼稚園での子どもたちのとておきの会話を紹介するコーナー。

今月は
光星学園三雲幼稚園
です。



遊戯室横の山水が流れる「みずみずらんど」での1コマ。

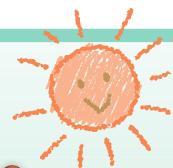
Aちゃん「つめた～い！ こおりそう！」
Bちゃん「アイスクリームよりつめたいね」と、足湯ならぬ足水で涼んでいました。
Cちゃん「いらっしゃいませ～」
先生「ん？」
Dちゃん「流しそうめんやさんで～す！」

流れてくる山水に竹の筒をつなぎ合わせて、流しそうめんやさんの始まりです。

どんどん流れ出てくる山水に大忙しの子どもたちでした。

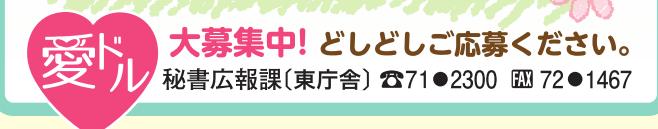


わが家の
愛ドル



小薦 和輝 かずき ちゃん 0歳 (三雲)

四人姉妹末っ子、元気で、逞しく育って、皆に笑顔を届けてね！



愛ドル 大募集中！ どしどしご応募ください。

秘書広報課(東庁舎) ☎ 71●2300 FAX 72●1467

こなんPICK UP!



三上 伸征さん

▲菩提寺小学校にて

子どもたちに知ってほしい 「育てて食べる」ことの大切さ

近江台に住む76歳の三上伸征さんは、60歳の頃から学校支援のボランティア活動を続けてこられ、暑い日も雨の日もほぼ毎日、菩提寺小学校と菩提寺北小学校に出向き、学校の花壇や子どもたちが学ぶ菜園のお世話をされています。

春は可憐な桃色に咲く芝桜、夏はヒマワリやトマト、秋冬は大根や白菜…四季折々の花や野菜を育て、子どもたちも授業のなかで三上さん指導のもと、花や野菜の生育を観察したり、収穫を行っています。そんな三上さんの活動を知り、地元企業の協力により菩提寺小学校に菜園の周りのフェンスが設置されるなど、後押ししてくれる存在も大きいそうです。

「何よりも子どもたちの喜ぶ顔が原動力になっています。自分たちで野菜を育て、食べるという経験を通して食べ物の大切さや、作ってくれている人への感謝の気持ちを持ってくれたら嬉しい。花や野菜とたくさん触れ合い、優しい心を持ってくれたら」とにこやかに語る三上さん。子どもたちが自然と触れ合いながらのびのびと学べる環境を作るため、三上さんは今日も活動します。



▲芝桜のお世話をする三上さん



▲子どもたちに優しく指導